

提出 順番	No. 9	平成 24年 5月 30日 午前・午後   時 10分受領
----------	----------	----------------------------------

平成 24年 5月 30日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 東口 隆弘



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
まちづくりのリーダー育成・強化のための取り組みについて	<p>今日、平成の大合併と地方分権改革の流れの中で、魅力ある地域社会の実現と誇り高い郷土の創造を目指す観点から、行政への住民参加、行政と住民との協働、即ち住民自治の質的向上が要請されているところである。</p> <p>本町においては、既に平成12年に「幕別町まちづくり住民参加条例」を、また平成16年には「協働のまちづくり支援事業交付金交付要綱」を制定し、住民参加・協働のシステム構築に先駆的に取り組んでいるところではある。</p> <p>しかしながら住民間には、個人主義のまん延によるものか、地域に参画し、ともに課題を解決する公共的意識はなお希薄であり、また、熱意ある者であっても、課題解決に向けた知識・方法論が伴わず、空回りしているようにも見受けられる。</p> <p>住民参加・協働のシステム構築とともに、住民の先頭に立ち、意識・見識・行動ともに住民をリードする有為な人材の育成に、長期的視野をもって着手すべきと考える。特に平成18年の合併以降、幕別地区、札内地区、忠類地区と歴史の異なる三極で構成される幕別町においては、それぞれの地域特性を見極めつつ、主体的にまちづくりに取り組む、幅広い知見を有した人材の輩出が望まれるところである。</p> <p>人材の育成については、総務省所管の「地域力創造に関する有識者会議」が、平成22年8月に取りまとめた報告書にも、「人材力の強化」を「地域力の向上」のための重要な要素と捉え、「人材力の強化」の方向性と施策提言がなされているところである。</p> <p>また、まちづくりに有為な人材育成のプログラムとして、管見に及ぶところでは、財団法人 地域活性化センターの「全国地域リーダー養成塾」や岡山県の「ふるさとづくり ももたろう塾」、公益財団法人 淡海文化振興財団の「おうみ未来塾」な</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問の要旨
	<p>ど、知識・情報の提供のみならず、課題解決に向けた主体的な研究姿勢を育成するものが実施されている。</p> <p>地域づくりは人づくりであり、住民自治の更なる発展を支える人材の育成こそ、本町の未来を拓くものと考え、以下の点について伺いたい。</p> <p>①まちづくりの核となる人材の育成・強化のための「まちづくりリーダー養成塾」の創設について  (単発的な研修、講座ではなく、知識・情報の提供のみならず、企画力・構想力を育てる1年を1期とする総合的な講座)</p> <p>②地域活性化や課題解決のための住民による主体的な企画・提案、事業実施に対する助成制度の導入について</p> <p>③町職員の人材力育成の一環として、公区行事や公共イベントなど地域活動への率先的参加について</p>